

おいしい水の誘い 大山さんの恵み

伯耆国「大山開山1300年祭」
http://www.daisen1300.org

参考文献



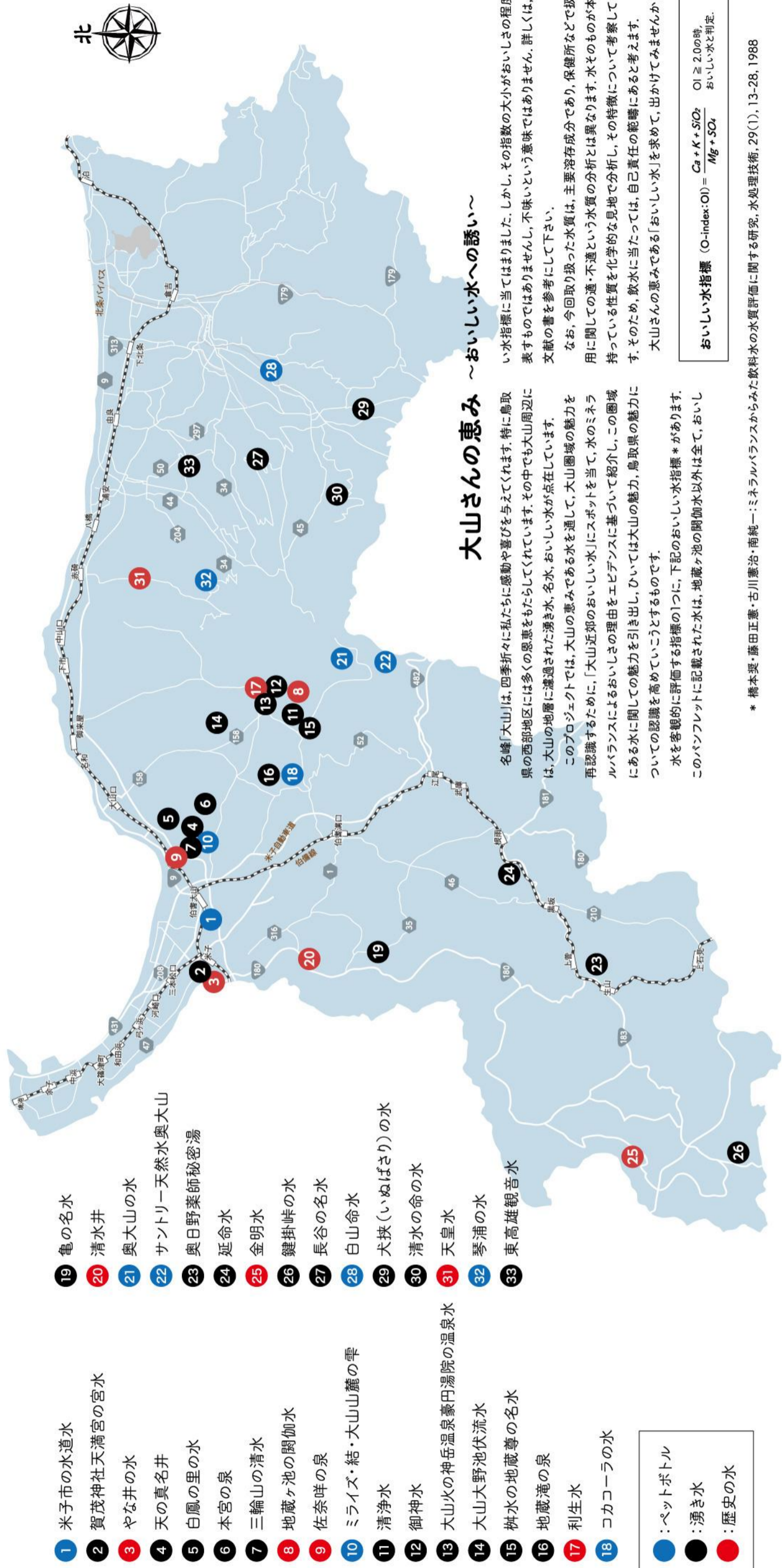
書名：森の恵み
～おいしい水への誘い～ 鳥取
編集：祝部大輔
著者：祝部大輔・吉谷昭彦・亀尾八洲雄
発行所：デザインエッグ株式会社
ISBN：978-4-8150-0759-1

大山さんの恵み ~おいしい水への誘い~

・本パンフレットは、伯耆国「大山開山1300年祭」大山圏域魅力向上補助金を活用して祝部大輔(鳥取大・医)が製作しました。

・伯耆国「大山開山1300年祭」ホームページ
(http://www.daisen1300.org)よりダウンロード載けます。

題字：森田米峯



●：ペットボトル
●：湧き水
●：歴史の水

大山さんの恵み ~おいしい水への誘い~

名峰「大山」は、四季折々に私たちに感動や喜びを与えてくれます。特に鳥取県の西部地区には多くの恩恵をもたらしてくれています。その中でも大山周辺には、大山の地層に濾過された湧き水、名水、おいしい水が点在しています。このプロジェクトでは、大山の恵みである水を通して、大山圏域の魅力を再認識するために、「大山近郊のおいしい水」にスポットを当て、水のミネラルバランスによるおいしさの理由をエビデンスに基づいて紹介し、この圏域にある水に関する魅力を引き出し、ひいては大山の魅力、鳥取県の魅力についての認識を高めていこうとするものです。

水を客観的に評価する指標の1つに、下記のおいしい水指標*があります。このパンフレットに記載された水は、地藏ヶ池の関伽水以外は全て、おいしい

い水指標に当てはまりました。しかし、その指数の大小がおいしさの程度を表すものではありませんし、不味いという意味ではありません。詳しくは、参考文献の書を参考にして下さい。

なお、今回取り扱った水質は、主要溶解成分であり、保健所などで扱う飲用に關する適・不適という水質の分析とは異なります。水そのものが本来持っている性質を化学的な見地で分析し、その特徴について考察しています。そのため、飲用に当たっては、自己責任の範疇にあると考えます。

大山さんの恵みである「おいしい水」を求めて、出かけてみませんか！

$$\text{おいしい水指標 (O-index:OI)} = \frac{\text{Ca} + \text{K} + \text{SiO}_2}{\text{Mg} + \text{SO}_4} \quad \text{OI} \geq 2.0 \text{の時、おいしい水と判定。}$$

* 橋本実・藤田正憲・古川憲治・南純一：ミネラルバランスからみた飲料水の水質評価に関する研究、水処理技術、29(1)、13-28、1988

1 米子市の水道水

米子市車尾南2丁目8-1

Ca	K	SiO ₂	Mg	SO ₄	Na
17.4	2.0	50	7.4	6.3	13

pH	硬度	Ca, K, SiO ₂ , Mg, SO ₄ , Na, 硬度の単位:mg/L
7.4	74	



専門家が絶賛する「よなごの水」

「よなごの水」製造のきっかけは、平成16年6月18～20日に開催されたエコアジア会議に提供しようと企画されたもので、米子のおいしい水と米子市の観光をPRしたいとの思いから製造されました。この「よなごの水」の採水地は、車尾(くずも)水源地の深井戸3号(地下86mの地下水)から汲み上げた原水をペットボトルに充填したものです。

ペットボトルのラベルは、伯耆国「大山開山1300年祭」のロゴマークを使ったコーポレーションデザインで、米子市から見る伯耆富士「大山」、創業時の車尾水源地在配置されています。

2 賀茂神社天満宮の宮水

米子市加茂町2丁目212 賀茂神社天満宮内

Ca	K	SiO ₂	Mg	SO ₄	Na
43	5.3	34	9.1	32	39

pH	硬度	気温/水温
7	120.7	15.0/17.0



往古より賀茂三笠山(米子城跡)の大自然がもたらす神の恵み

大正13年の上水道付設までは、この井戸の水は「水売り」によって町内を売り歩かれ、酒造業者の特醸酒用水として重宝されたと言われていることから、その湧き出る量は相当なものとして推測できます。

平成9年、駅前通りの拡張工事によって元井戸のあった場所は現在道路の下になっています。しかし宮水は水源からポンプアップされ、現在では開運・清祓・祈念等の宮水お水取り行事に用いられています。また、米子三名水の一つとして知られています。

3 やな井の水

米子市愛宕町29 桂住寺入口

Ca	K	SiO ₂	Mg	SO ₄	Na
6.6	1.1	23	4.1	10	20

pH	硬度	気温/水温
6.4	33.3	26.0/17.0



矢を引き抜いたところから湧き出た清水(歴史の水)

「米子三名水」の一つで、かつての山陰道の道端にあるやな井の水を、聖水として仏前に供したり、酒造りの水として汲んだり、一杯いくらかで売らんがため、井の前の狭い道に水桶を積んだ大八車がひしめいた昔があった、ということです。

やな井の水は、どんなに日照りが続いても、涸れることはなかったと云われます。今は使われなくなった水ですが、その水の有難さを忘れないために、今も、やな井戸地蔵が井戸の上に祀られています。

4 天の真名井

米子市淀江町高井谷

Ca	K	SiO ₂	Mg	SO ₄	Na
8.2	3.3	34	5.3	3.2	10

pH	硬度	気温/水温
7	42.23	30.0/13.0

名水百選に指定(昭和60年)



神聖な水につけられる最高位敬称の湧水(暮らしの中の泉)

「天の真名井」とは、「古事記」「日本書紀」によると、高天原(たかまがはら)の「神聖な井戸」を意味し、神聖な水につけられる最高位の敬称です。湧水量は、1日2,500トンに及び、夏は冷たく、冬は温かく、実に味わい深い天然水です。

山陰を代表する名水で、水郷の里にふさわしい景観と雰囲気を感じさせています。

5 白鳳の里の水

米子市淀江町福岡1548-1白鳳の里

■アルカリイオン水

Ca	K	SiO ₂	Mg	SO ₄	Na
7.1	0.4	32	0.1	7.7	29

pH	硬度
8.8	18.16

■大山の湧水

Ca	K	SiO ₂	Mg	SO ₄	Na
13	2.5	57	9.9	2.3	14

pH	硬度
7.4	73.09



「水の郷」として名高い町にある湧出量豊富な湧水

「淀江ゆめ温泉白鳳の里」前には、温泉水(アルカリイオン水)、天然水(大山の湧水)を飲用できるポイントがあり、観光客の喉を潤す人気の場所になっています。

大山から湧き出した名水を使い、自家工房で作っている豆腐が名物です。

6 本宮の泉

米子市淀江町本宮

Ca	K	SiO ₂	Mg	SO ₄	Na
8	1.8	50	5.8	6.5	26

pH	硬度	気温/水温
6.4	43.8	30.0/13.0



亜熱帯植物クリハランの自生する水量豊富な泉(暮らしの中の泉)

宇田川の水源地であり、日量15,000トンの湧水量を誇り、水温は年間を通して一定(13.5～14.0℃)です。古くから灌漑用水として、また本宮・西尾原簡易水道の水源地としても利用されています。

県西部では唯一の亜熱帯植物クリハランの自生地としても有名で、泉が育む豊かな自然に包まれる、癒しのスポットです。

7 三輪山の清水

米子市淀江町平岡

Ca	K	SiO ₂	Mg	SO ₄	Na
14	0.6	55	8.8	14	15

pH	硬度	気温/水温
6.8	71.08	33.5/13.0



淀江トンネル南側の側道脇から湧き出る湧水

淀江トンネル工事の際にこの湧水が発見され、水汲み場として整備されました。場所は、淀江トンネル西入口の「淀江トンネル」の看板の下付近(淀江トンネル南側の側道脇)にあります。

穴場的なポイントながら、地元の人を始め、県外ナンバーの車がわざわざ汲みに訪れるなど密かに注目を集めています。この三輪山の清水という名称は、現在の水くみ場周辺に関連する地名から決められました。

淀江町地域内では、「天の真名井」、「本宮の泉」に次ぐ第3の名水となっています。

8 地蔵ヶ池の閑伽水

大山山頂付近

Ca	K	SiO ₂	Mg	SO ₄	Na
1.5	1.6	2.6	0.9	5.2	2.6

pH	硬度
5.3	7.7



大神山神社奥宮の「もひとり神事」で使われる大山で最も神聖な水(歴史の水)

大山山頂には、石室(いしむろ:昔の避難所)の前に二つの池があります。この水を「閑伽(あか)水」といい、大山で最も神聖な水とされています。石室の南側にあたる上方の池が「地蔵ヶ池」で、北側の下方が「梵字ヶ池」ですが、大山七池では二つの池を一緒にして「地蔵ヶ池」と呼びます。

地蔵ヶ池は、大山の文殊、観音、地蔵などの諸仏が明るい荘厳な光に包まれて現れた池で、その池の霊水を汲んで下る神事は、古神道で始まり現在の「もひとり神事」に引き継がれ、鳥取県の無形民俗文化財にもなっています。「もひ」とは古語で「水」のことであり、「もひとり」とは水汲みのことです。

※木道から外れて立ち入ることはご遠慮ください

9 佐奈咩の泉

米子市淀江町西原

Ca	K	SiO ₂	Mg	SO ₄	Na
8.1	1.1	30	4.3	2.7	13

pH	硬度	気温/水温
6.5	37.88	19.5/15.5



日吉神社周辺に昔から湧きいづる泉のひとつである延命の霊泉(歴史の水)

日吉神社は淀江体育館の近くにあり、境内には、古くから海神として祀られた佐奈女(サナメ)社があります。佐奈咩の泉は、この周辺に昔からこんこんと湧きいづる泉のひとつで、延命の霊泉です(延命の泉とも呼ばれていました)。

立て看板裏側の木の根元から今でもこんこんと水が湧き、現在でも、遠方から水を汲みに来られる方もおられるとか、泉に張る氷の厚さで、その年の気候や作物のできを占う習慣が伝えられています。

10 ミライズ・結・大山山麓の雫

米子市泉 永伸商事(株)

Ca	K	SiO ₂	Mg	SO ₄	Na
9.8	2.9	67	6.3	2.4	13.2

pH	硬度	気温/水温
7.1	50.2	24.0/14.9



健康とよろこびを願うコンセプト・ウォーター「未来に流れる水」

「ミライズ」誕生のきっかけは、この地を訪れた経営者が、豊饒あたたかな大神山神社の偉大さや、米子の土地の風の清らかさ、大自然の恵みである食材や水の美味しさを感じ、この土地に一目惚れをしたことに始まります。そこで水質調査の結果、水脈の存在を確認、工場を施工し、ミネラルウォーターの製造へと至りました。

この水の特徴は、大山の雄大な土地に濾過された水を、地下120mより汲み上げ、熱殺菌の後、無菌充填していることにあり、硬度48mg/Lの軟水で、大変喉越しの良い、甘みのあるナチュラルミネラルウォーターに仕上がっています。

正六角形の黄色のロゴは、大神山神社の菊の紋がモチーフになっています。

11 清浄水

西伯郡大山町大山 大山寺本道右側

Ca	K	SiO ₂	Mg	SO ₄	Na
2.3	0.4	10	0.6	2.7	3.4

pH	硬度	気温/水温
7.6	8.21	26.0/9.0



古来より信仰に培われてきた湧水

清浄泉は、環状道路を大山寺から栢水高原方面に向かう途中の左手山側(大山寺より約0.9km)にあります。

大山寺から徒歩で行くと、歴史の道大山道(横手道)を通り、大鳥居を過ぎた辺りの待避所のように広くなったスペースに湧く名水です。周りには地蔵、石碑があり古来より信仰に培われてきた水であることが分かります。登山客をはじめ、旅する人がつい足を止め、喉を潤す大山のオアシス的な存在です。

12 **御神水**

西伯郡大山町大山 大神山神社奥宮内

Ca	K	SiO ₂	Mg	SO ₄	Na
4.6	0.1	15	1.5	3.4	3.7
pH	硬度	気温/水温			
7.1	17.65	25.0/15.0			



時の僧兵達も大切に神聖な延命長寿の湧水

大山北西麓の標高800m付近にある御神水は、大神山神社山門下、西楽院跡入り口の向いにある神聖な湧水です。時の僧兵達もこの水を大切にしていたと伝わり、参拝者や、ここをルートとする大山登山者は、必ずといっていいほど立ち寄っているようです。この2mくらいの水鉢の石は、昭和63年7月13日の集中豪雨により、金門に滞留した土石流が神社参道を埋めつくし、その中にあった石だそうです。

13 **大山火の神岳温泉豪円湯院の温泉水**

西伯郡大山町大山25

Ca	K	Mg	SO ₄	Na
6.9	3.0	5.8	10.0	15.5
pH	硬度	気温/水温		
8.2	27	28.0 / 23.0		



大神岳の地下1,200mから湧き出た神の湯

大山火の神岳温泉豪円湯院は、日帰り温泉施設で、大山寺の参道沿いにあります。豪円湯院の「豪円」とは、昔々、大山寺で幼くして出家し、その後金山寺や比叡山の再建に尽力し、大山寺の復興にも取り組まれた、豪円和尚さんからいただいた名前です。この温泉は、地下1,200mから温泉「神の湯」として湧き出て、酸化還元電位の値が-320mVと非常に低い天然温泉（弱アルカリ単純温泉）です。館内2階のお風呂へ向かう途中の還元水コーナーで、誰でも気軽に還元水を飲むことができます。温泉水ですので、飲用上の注意があります。

14 **大山大野池伏流水**

西伯郡大山町飯戸1521-154 大山レークホテル内

Ca	K	SiO ₂	Mg	SO ₄	Na
5.4	1.3	15	3.0	5.8	14
pH	硬度	気温/水温			
6.7	25.8	- /17.6			



大山山麓の深い樹林に包まれた大野池に湧く水

「因伯の名水(ふれあいの水辺)」として選定された景観の美しい湖の大野池は、大山山麓の深い樹林に包まれた、標高約500mに位置します。大山大野池伏流水は、この大野池の端で、大山レークホテルで使用する水を、地下20~30mからポンプで汲み上げている水です。藻が生えるのを防ぐために、数ヶ月大野池の水を抜くそうですが、決して干上がることはありません。大野池はため池ではなく、地下から湧いてくる水だからです。水環境保全のため、関係住民及び町はもとより、池に隣接するホテルも生活排水を池に流入させないよう工夫するなど、水質汚濁防止対策が講じられています。

15 **枳水の地蔵尊の名水**

西伯郡伯耆町枳水高原

Ca	K	SiO ₂	Mg	SO ₄	Na
2.7	<0.1	12	0.6	3.4	3.5
pH	硬度	気温/水温			
6.5	9.2	26.0/14.0			



水量が年中枳で量ったように変わらぬ湧水

枳水高原の大山環状道路沿いにあり、以前は大勢の人が水を飲んでいる光景も見受けられました。整備がされてから、湧水は蛇口から出るようになっていました。水場の碑によると、いつの頃からか、この地に小さな水溜りができたが、この湧水は、年中水量が枳で量ったように変わらないので、枳水と言われるようになったようです。けれど、元禄の時代、この水が濁れた時から凶作続きで、餓死者も多く出たと伝えられています。そこで、享保17年、行者宗真は、水溜りを枳形にしつらえ、地蔵菩薩を刻んで四十八隔夜念仏をし、村人たちは枳形の柄杓で水を献じ祈ったところ、再び湧水が出るようになったそうです。それ以来、この地と村落をつなぐ約1里に延びる原野を枳水原と呼ぶようになったということです。

16 **地蔵滝の泉**

西伯郡伯耆町丸山1647-1

Ca	K	SiO ₂	Mg	SO ₄	Na
11	2.3	42	5.1	2.5	12
pH	硬度	気温/水温			
6	48.4	28.0/13.0			



因伯の名水、平成の名水百選

地蔵滝の泉は、大山平原GCの入口近くの丸山橋を渡るとすぐ側道(右側)へ下りる道を進んで、丸山橋の下を通り抜けた所にあります。地蔵滝から湧き出る水は、年間を通じて11℃に保たれ、日量19.4万トンにもなります。八郷水道(370世帯)に供給されるほか、約200haの灌漑用水としても利用されます。この地蔵様は別名「芹川(せりがわ)地蔵」とも呼ばれ、辺りには多くのセリが群生しています。川下は川遊びをしたり、のんびりとくつろいだりできるポイントとして地元では密かに人気があります。まさに時間を忘れる避暑の空間です。

17 **利生水**

西伯郡大山町

Ca	K	SiO ₂	Mg	SO ₄	Na
1.6	0.1	9.4	0.6	2.9	4.7
pH	硬度				
6.4	6.6				



白髪になでれば黒髪となり、飲めば病気も治ると言われた水(歴史の水)

利生水は、南光河原から阿弥陀堂に向かう「僧兵コース」の遊歩道にあります。「縁起」は、この水のお蔭で白髪が黒くなり、病人も治ったと書かれ、大山の水は延命長寿の水であるとあります。またこの水は、文殊利生に擬えて「利生水」と言われました。かつては年中きれいな水が溢れていたのですが、今はその面影はなく、その名残が見られるだけになりました。

18 **いろ・は・す 天然水**

西伯郡伯耆町金屋谷306-1

Ca	K	SiO ₂	Mg	SO ₄	Na
6.8	3.9	81	5.7	1.9	8.8
pH	硬度				
7.2	40				



天然の地層にゆっくりと濾過され、ミネラル成分を含んだ天然水

ココ・コーラ ボトラーズジャパン大山工場(鳥取県西伯郡伯耆町)では、中国山地の秀峰大山が育んだ「いろ・は・す天然水」を製造しています。「いろ・は・す」は、日本古来の「いろは歌」の最初の三文字と、健康と環境を志向するキーワード「LOHAS(ロハス)」を掛け合わせています。やわらかな語感のひらがなの名で、国産の天然水であることを表現しています。

19 **亀の名水**

西伯郡南郡町中

Ca	K	SiO ₂	Mg	SO ₄	Na
3.2	0.6	24	1.4	3.5	11
pH	硬度	気温/水温			
6.5	13.74	24.5/16.0			



延命水 飲んで万年生きてみる

米子市から180号線に乗り、法勝寺にて県道35号線に乗り換え、バス停「今長」で下車します。伯耆町方面に向かい「中」地区の旧道沿い山手側に亀の名水は位置します。旧道にあるため少し見つけにくいですが、きちんと整備されています。「延命水」と石に刻まれています。

20 **清水井**

西伯郡南郡町清水川

Ca	K	SiO ₂	Mg	SO ₄	Na
20	1.0	27	3.0	7.9	17
pH	硬度	気温/水温			
7.4	62	40.0/15.0			



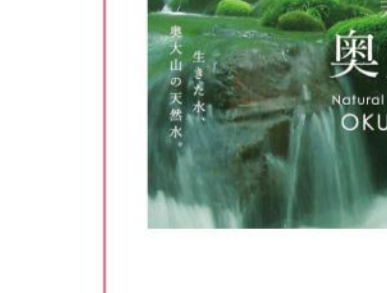
古事記にも登場する神話の名泉(歴史の水)

清水井は、古事記に登場する(大國主命蘇生のために使われた)歴史を持つ湧水で、今でもこんこんと水が湧き続けています。「この井水は百日の旱魃にもかき干されず神の水として部落の人たちに尊ばれている」と井の側の立て看板に書かれています。一名蛤水の井戸と伝えられ、少しにごっていますが百日の旱天にも濁れたことのない神秘的な名泉です。

21 **奥大山の水**

日野郡江府町御机

Ca	K	Mg	Na	pH	硬度
5.2	2.0	1.8	6.0	7.0	21



大山のブナの原林より湧き出している天然水

国立公園大山の南麓を望む中腹(標高1200m)に広がるブナの原生林(西日本最大級)に浸透した天然水を、標高800m地点で汲み上げています。奥大山チロルの里(江府町)に湧き出る水は、大山の万年雪が永年にわたって地下に浸透し、ろ過され、湧き出た天然のミネラルウォーターです。近くにある木谷沢渓流も、水の流れといい、石に付く苔の具合といい別世界です。

22 **サントリー天然水奥大山**

日野郡江府町大字御机字笠良原

Ca	K	SiO ₂	Mg	SO ₄	Na
4.8	3.4	61	2	1.4	6.7
pH	硬度				
7.3	11				



奥大山ブナの森工場から作られる地中深くの清冽な天然水

奥大山ブナの森工場は、豊かな自然を壊さないよう、水を育む森や環境を大切にしている自然共生型の工場です。中国山地の最高峰大山(標高1,709m)に降った雪や雨は、黒雲母(くろうんも)や角閃石(かくせんせき)などを含む火成岩(ダイサイト)を主とする地層に深く浸透し、適度なミネラル分を含んだ天然水へと磨かれていきます。また、鳥取県奥大山一帯は広大なブナの森が生い茂る場所でもあり、その森の下、地中深くに清冽な天然水が蓄えられています。美しい自然環境と降雪量の多さに支えられた豊富な水量をもつ奥大山は、まさに水のふるさとです。

23 奥日野薬師秘湯

日野郡日野町福長上へ1342 紅葉温泉

Ca	K	SiO ₂	Mg	SO ₄	Na
2.5	0.5	34	<0.1	13	40
pH		硬度			
9.6		26.0/13.0			



紅葉温泉のラドン温泉水

紅葉温泉の湯は、地下120mから直接汲み上げられる32℃の天然ラドン温泉水です。泉質はラドンを多く含み、弱アルカリ性(pH=9.3)の単純放射能泉です。この紅葉温泉の湯が奥日野薬師秘湯として販売されています(試飲コーナーもあります)。天然ラドン温泉には、放射線ホルミシス効果が認められています。

24 延命水

日野郡日野町下樓875 長楽寺内

Ca	K	SiO ₂	Mg	SO ₄	Na
5.3	0.3	23	1.2	2.7	6.3
pH		硬度			
7.4		18.17			
		気温/水温			
		21.5/12.0			



寿命を延ばすと言い伝えられる湧水

「延命水」は、長楽寺(曹洞宗の古刹)に上っていく急な坂道の途中、参道沿いに位置します。かなり急な坂となっていますが、水汲みに訪れている人もいます。名が示す通り、寿命を延ばす名水として伝えられてきました。

湧水が湧き出すところは、土砂崩れがあり、社は流されましたが、現在、再建され、社の後側も石が組まれ補強されました。

25 金明水

日南町上秋山

(船通山の登山道の5合目あたりに湧き出る)

Ca	K	SiO ₂	Mg	SO ₄	Na
1.4	0.3	10	0.6	2.5	3.9
pH		硬度			
6.5		5.96			
		気温/水温			
		19.5/10.0			



須佐之男命も飲んだかも知れない船通山中腹の湧水(歴史の水)

金明水は、船通山の登山道(健脚コース)の5合目あたりにあります。

船通山は、比婆道後帝釈(ひばどうごたいしゃく)国定公園に含まれる島根県(奥出雲町)と鳥取県(日南町)の県境に聳える標高1142.6mの山です。そして、出雲の国風土記には、須佐之男命(すさのおのみこと)がこの山に棲む八岐大蛇(やまたのおろち)を退治し、天の叢雲の剣を得たとなっています。毎年7月28日の船通山宣揚祭の際に供される金明水の冷水で点てられた抹茶は絶品です。

26 鍵掛峠の水

日南町新屋

Ca	K	SiO ₂	Mg	SO ₄	Na
0.5	0.5	6.6	0.3	1.8	2.3
pH		硬度			
6.4		2.8			
		気温/水温			
		21.0/8.0			



旅人に峠を越える気力を与えたであろう峠の湧き水

鍵掛峠は、日南町から広島県庄原市へ越える国道183号の国道峠です。標高630m付近にある「かっかけ展望駐車場」から南へ向かい、県境の手前300m付近に鍵掛峠の水があります。この水は、庄原市方面に向かって左側にある受水槽で汲むことができ、水量も豊富です。

この鍵掛峠の水は、水の中のミネラルが少なく、水温が低いので、この水が飲みやすいと感じる人は多いのではないのでしょうか。また、カルシウムとマグネシウム比率は、2:1が黄金比率と言われていますが、その条件にもほぼ合致しています。

27 長谷の名水

倉吉市長谷

Ca	K	SiO ₂	Mg	SO ₄	Na
6.8	2.3	47	3.6	<0.2	12
pH		硬度			
7		31.76			
		気温/水温			
		32.0/15.0			



川の水が枯れても水量は変わらない湧水

長谷集落から中野集落へ向かう三叉路を右に入ると数百メートルの道路際にあり、「長谷の名水」の標識が設けられています。水場は標識の裏下側にありますので、車の走行中に見ることはできません。水場は、標識や石積みの状態から考えて、比較的新しく整備されたように感じられます。

水量は豊富で、川の水が枯れてもこの「長谷の名水」の水量は変わらないそうです。コップなども置いてあり、集落の人に親しまれていることが分かります。道路の反対側には自動車止めるスペースがあり、また、道祖神が祀られています。

28 白山命水

倉吉市蔵内320-1 (株)白山命水

Ca	K	SiO ₂	Mg	SO ₄	Na
20	0.3	35	0.8	11	17
pH		硬度			
8.4		73.8			



花崗岩層、3枚の岩盤の天然フィルターを通じて成熟された地下水

2002年2月、飲料水利用目的として掘削して湧き出てきた水は、人々の命に役立つ水であって欲しいとの願いを込めて「白山命水」と命名されました。採水地の地下242メートルからポンプで汲み上げられ、天然還元水として販売されています。採水地は2002年の夏頃から「奇跡の水」として地元の口コミで広がり、地元や県内外の方が訪れ話題となっていきました。地元テレビ局が密着取材し、放映されることもありました。

また、県内でも稀なおいしくかつ健康な水指標に当てはまる水です。

29 犬狹峠の水

倉吉市関金町山口2030-46 道の駅「犬狹」

Ca	K	SiO ₂	Mg	SO ₄	Na
7.8	0.9	29	0.8	3	8.2
pH		硬度			
7.8		22.78			



岩に囲まれた場所に湧く水

犬狹(いぬばさり)の水は、トンネルを掘ったときに出た、岩に囲まれた場所に湧く水で、道の駅「犬狹」の駐車場内にあります。しかも、1998年に道の駅が作られた際、整備されたものです。ワサビの里と知られる清流エリアだけにその透明度、冷たさ、豊富な湧出量で、しっかり整備され、安心して飲むことができます。

犬狹峠という珍しい地名は、かつては狭くて急峻な峠であったため、犬にとっても狭い道、あるいは犬すら逃げ出す「犬は去り」から、その名が付いた等の諸説があります。

30 清水の命の泉

倉吉市関金町清水 清水集落

Ca	K	SiO ₂	Mg	SO ₄	Na
4.5	0.9	26	1.8	1.1	5.6
pH		硬度			
7.5		18.63			



足手神社の山裾の岩から湧き出す水

ここ「清水集落」は、読んで字のごとく清らかな清流の里であり、豊富な水量が大地の恵みとなり、村人の喉を潤し、農地を耕し、また、清流で育つ「わさび」を特産にしました。

「足手神社」の山裾の岩から清らかな清水がこんこんと湧き出ており、「塔王権現」に住む仙人が発見したと言われ、この水は清水集落の住民にとって欠かすことの出来ない「命の泉」として親しまれています。また、この水を来訪者が気軽に飲み、汲むことができるよう、休憩所なども設置された「清水の名水場」があります。

31 天皇水

東伯郡琴浦町大字高岡

Ca	K	SiO ₂	Mg	SO ₄	Na
9.9	1.9	38	2	4.1	7.2
pH		硬度			
6.5		32.95			



後醍醐天皇によって発見されたとされる小川から湧き出る歴史の水

「天皇水」は、琴浦町赤碓付近から船上山方面に向かう途中にある大熊集落内の民家の前を流れる小川から湧き出ています。元弘3年(1333年)後醍醐天皇によって発見されたと伝えられている歴史の水です。

三方を石垣で囲まれた、幅、奥行きとも1mの泉で、澄んだ水が地底から湧き出て、泉の中央には高さ70cmの石が鎮座し、御神体として大切に奉られています。昔から集落の共同の水場として利用されています。

32 琴浦の水

東伯郡琴浦町大字大父

Ca	K	SiO ₂	Mg	SO ₄	Na
4.8	1.6	33	2.0	1.8	6.7
pH		硬度			
7.5		20.2			



東伯郡琴浦町大父木地の新水源地で採水された水

東伯郡琴浦町大父木地の新水源地の地下約140mから採水し、広島県三原市で120℃の加熱殺菌処理を行ってペットボトルに充填し製品化しています。

ペットボトルには、大山滝をバックに、ウェブ漫画「琴浦さん」の主人公の琴浦春香、森谷ヒヨリ、御舟百合子部長が描かれています。「琴浦」繋がりで縁ができて、町の観光促進、いわゆる「萌えおこし」などに、このキャラクターが用いられています。

33 東高雄観音水

東伯郡北栄町大字東高尾

Ca	K	SiO ₂	Mg	SO ₄	Na
7	0.9	6.8	4.1	2.1	12
pH		硬度			
6.7		34.31			



山道の端にさりげなく存在する清冽な湧水

東高尾観音水は、国道9号線から北栄町に入り、西高尾から東高尾を通り東高尾観音寺へ行く途中の左側の橋を渡ったところの竹林に囲まれた山道の端に、さりげなく存在する清冽な湧水です。

東高尾観音寺は、古代草創と伝わりますが不詳です。